

【施設状況】

グループ名称	母子生活支援施設（美和荘）							
指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会				法人番号	5100005001689		
所管課	主	116000	子育て支援課	副				
構成施設	1505	母子生活支援施設(美和荘)						
施設分類	06	保健福祉2型		施設利用者圏域	02	広域施設	利用制適用区分	01 代行制
施設概要	居室（17）、心理室、保育室、緊急一時保護室、事務室、静養室、集会室、学習室、浴室（ポイラー室）、倉庫、自転車置場							
施設設置目的	児童福祉法に基づき、配偶者のない女子またはこれに準ずる事情にある女子とその児童を共に入所させ、これらのものを保護するとともに自立の促進のためにその生活を支援するとともに、併せて退所した者について相談その他の援助を行うことを目的とする。							
基本方針等	指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、施設の設置目的を踏まえた施設となることを目指す。							
主な実施事業	母子への日常生活、就労、養育、地域生活に向けた自立支援等、児童福祉法第38条に基づき実施。その他年間事業として、各種行事、母親懇談会、避難訓練を実施。							

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・ 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・ 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・ 協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・ 協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・ 管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・ 協定、事業計画が全て実施されない ・ 管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・ 市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	社会福祉法人長野市社会事業協会			指定回数	3 回	
指定期間	平成28年4月1日	～	令和3年3月31日	5年	管理運営開始日	平成18年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					

2 施設の有効活用

No. 33

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	H27	H28	H29	H30	対前年比	評価
	新規委託依頼世帯数	世帯	8	7	3	6	200%	
	年間累計入所世帯数	世帯	70	80	95	66	69%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
(特記事項) 入所に際しては、利用者の状況を確認し支援が必要であると認められた世帯を受け入れた。								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母子保護の実施に関すること</li> <li>・施設の運営に関すること</li> <li>・施設及び備品の維持管理に関すること</li> <li>・安全管理に関すること</li> </ul>						
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域向け子育て講座の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域貢献活動として開催。住民自治協議会への働きかけを行い、協力を得て開催した</li> </ul>				
サービス維持・向上の取組み (広報等)	相談支援、母子支援に関する研修会へ積極的に参加。 有資格者は自己研鑽として専門分野や新たな資格取得に向けた研修に積極的に参加。 障害を有する利用者支援対応のため、障がい福祉サービス事業の把握に努めた。 自治協議会へ働きかけ、地域向け親子コミュニケーション講座を開催。アンケートにて地域ニーズの把握にも努めた。							

3 利用者評価

利用者評価	区分	内容	評価
	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法 (2) 調査、会議等の内容 ・ 随時、利用者からの申し出を受付 ・ 年1回(10月)に施設長面談を実施。利用者が責任者へ直接申し出る機会を設けている。 ・ 意見箱の設置(H23.4月から実施) ・ 定期の母親懇談会にて意見聴取 ・ 年1回施設利用についてのアンケート (3) 調査、会議等の結果 ・ 意見、要望は検討結果を利用者へ回答 ・ 個別対応が必要な場合は、申し出者と協議して対応している。	
利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価 ・ 不安な時に相談できることが助かる。 ・ 退所の時に寂しい気持ちとなり、いかに居心地が良かったか分かった。 ・ アフターケアより「何かあったらここに来ようと思える場所」 (2) 苦情・改善等の要望事項 ① 蜂、ダニ等の駆除について ② 浴室の蛇口の不備について ③ 廊下の消灯時間を遅くしてほしい ④ 居室のエアコン、湯沸かし器の不調 <<対応措置>> ① 蜂の巣の確認を行うが巣は確認できず。居室の虫については自己で対応するよう伝えた。 ② 修理を実施、蛇口の交換を行なった。 ③ 管理宿直者へ消灯時間を遅くする事を申し送りました。 ④ エアコンは修理不可であったため、ヒーターを提供した。湯沸かし器も業者へ修理依頼をしたが入所者の退所までに済ませることができなかった。		

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成30年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成30年度決算		平成29年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金		利用料金		歳入	使用料		使用料	
	指定管理料	32,074,000	指定管理料	32,074,000		雑（納付金）		雑（納付金）	
	委託料		委託料		行政財産 目的外使用料		行政財産 目的外使用料		
	販売収入等		販売収入等		貸付料		貸付料		
	その他収入	986,000	その他収入	919,057	その他		その他		
					光置入所施設設置費等負担金	2,028,077	光置入所施設設置費等負担金	1,778,622	
					入所者負担金	18,973,846	入所者負担金	20,120,516	
	計	33,060,000	計	32,993,057	計	21,001,923	計	21,899,138	
支出	人件費	26,781,000	人件費	28,243,429	歳出	指定管理料	32,074,000	指定管理料	32,074,000
	設備管理費	993,000	設備管理費	885,035		委託料		委託料	
	備品購入費	317,000	備品購入費	260,397		需用費		需用費	
	修繕費	225,000	修繕費	175,020		役務費		役務費	
	光熱水費	524,000	光熱水費	495,458		使用料・賃借料		使用料・賃借料	
	事業費	903,000	事業費	679,584		修繕費		修繕費	
	事務経費	4,212,000	事務経費	3,194,422		工事請負費		工事請負費	
	本社経費	512,000	本社経費	512,000		備品購入費		備品購入費	
	その他	180,000	その他	180,000		その他		その他	
	計	34,647,000	計	34,625,345		計	32,074,000	計	32,074,000
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		-1,587,000		-1,632,288	差引	-11,072,077		-10,174,862	
人件費比率【人件費（賃金等）／平成30年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）								81.6%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて  で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 7名 所長1 母子支援員2 少年指導員1 書記兼少年指導員1 心理士1 嘱託医1 (7名)		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

区分	確認内容	チェック欄	評価
危機管理体制	安全対策	<input checked="" type="checkbox"/>	4
	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか		
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	<input checked="" type="checkbox"/>	
	1 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切であったか		
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		4
	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区会議への出席、行事参加</li> <li>住民自治協議会と連携し子育てコミュニケーション講座の開催</li> <li>企業による社会貢献事業受入</li> <li>地域交流を目的とした花火大会の実施</li> <li>地域との防災協定の締結</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民自治協議会との連携</li> <li>地域住民の子育て力向上とニーズ把握のため実施した。</li> <li>企業による社会貢献事業の受入</li> <li>利用者の生活環境改善を目として安全に配慮した上で地域企業の活動受入を行なった。</li> </ul>	

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>地域の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>--- 基準値</p>
施設の有効活用	4	16	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	6	
危機管理体制	4	16	
地域連携	4	8	
<b>合計得点</b>			

評価理由	措置元の福祉事務所に対して、定期的に入所者の状況報告をすることにより、支援の内容や方法について綿密な情報共有を行い、支援者に対応をしている。入所者に対して、自立に向けた支援内容を理解した上で自己決定ができるように対処方法の見直しを行い、早期退所に向けた取り組みをしている。支援する職員の資質向上のため、各種専門的な研修に参加、定例会議を利用して職場内研修を実施し全職員に対して研修内容の共有を図った。入所者の声を反映した母子での思い出作りのためのバス遠足など入所者の精神面に配慮した行事を行い、入所者から高評価をもらっている。地域への理解を深めるため、交流を積極的に行うとともに、災害時の防災協定の締結を行った。個人情報管理には、十分に注意を払い緊急時の対応に迅速に行えるように職員への連絡体制を整備し対応している。
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等 (改善されていない場合)
	入所者に障がいをもつ利用者が母子共に増加しているため、より一層利用に当たり施設機能及び諸手続き説明を丁寧に行う必要があるなど障害特性に配慮した支援が求められている。併せて障がい者支援を行う関係機関との連携した支援を指定管理者と協議して行う必要がある。	障がい者福祉サービス事業者との連携等は、法人内の事業を利用するなど法人の障がい関係のネットワークを活かし利用者支援の充実を図ることができている。	

次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	・ 建築後40年以上が経過し老朽化及び耐震性が不足していることから、入所者の安全性を確保するため、改築を含め施設の在り方について早急に今後の方向性を決定する。
---------------------	---------------------------------------------------------------------------------

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・ 職員の資質向上  
有資格者は自己研鑽として専門分野や新たな資格取得に向けた研修に積極的に参加している。  
外部研修の他、施設内研修の充実にも力を入れ、支援力を養うための研修を開催。外部講師等による研修を実施した。
- ・ アフターケアの充実  
退所後、数年に渡り支援する家庭が増加。問題が大きくなる前に対応し解決が図れるよう努めている。  
退所後5年以内の世帯へ年2回ハガキを送付している。  
退所後数年して新たな問題が発生するケースもあり相談や報告が寄せられた。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・ 利用者情報管理  
情報管理の見直しを図り、数年経過や職員入替によって情報把握しやすい方法へ変更。
- ・ 職員の業務分担見直し  
支援の充実と効率化を目的に、職員の業務内容と分担を全職員で見直した。  
業務内容の再編成、変更を行ない新年度に向けた効率化を図った。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・ 施設の老朽化、耐震化未整備の状況が続いており、利用者の安全に関わる問題となっている。
- ・ 制度上、安定した入所世帯の維持が難しい事業であり、暫定定員が続いている。

(3) 総合評価

評価基準（計画＝事業計画）

- 【A】計画や目標を大きく上回る      【B】計画や目標を上回る      【C】計画や目標どおり  
【D】計画や目標を下回る              【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者  
自己総合評価

B

① 評価理由

② 次年度以降の取組み

支援に関すること

- ・ 性教育研修 利用者（母親）と職員参加による研修の実施。（R元年6月外部講師による研修実施）
- ・ 支援向上を目的とした研修の開催と参加
- ・ 利用者アンケートの実施

地域連携に関すること

- ・ 地域会議、行事への参加を積極的に行い、地域との交流と理解を深める。
- ・ 母子に関する地域福祉ニーズの把握と支援事業の実施。R元年度地域向け子育て講座開催。

施設の維持管理に関すること

- ・ 施設の耐震問題、運営について長野市と協議し方針を決定する。